

区分・種別	県指定有形文化財（歴史資料）		
名称	ぼっちゃんれっしゃ 坊っちゃん列車 2両 機関車・客車各1両		
所在地	松山市梅津寺町		
所有者	伊予鉄道株式会社	管理団体	
指定年月日	昭和43年3月8日 県民俗資料 昭和52年1月11日 県指定替え		
解説	<p>この列車は、夏目漱石の名作「坊っちゃん」に登場してから「坊っちゃん」列車の愛称で親しまれてきた。</p> <p>機関車はドイツのクラウス社製、4輪連結タンク機関車で重量6.81t、動輪の直径68.5cm、シリンダーの直径18cmである。客車もドイツ製の半鋼製4輪客車で定員は12人である。</p> <p>両車とも明治20（1887）年にドイツから輸入され、同年9月18日に組立てを完了して試運転された。翌21年10月28日、伊予鉄道松山～三津間（6.8km）の営業開始とともに、両車とも1号車として活動を始めた。</p> <p>以後昭和29（1954）年まで60余年にわたって走り続け、庶民の足としてまた伊予路の風物詩として親しまれ、このうち機関車は、昭和42（1967）年10月に日本国有鉄道から、我が国現存最古の軽便鉄道機関車として、鉄道記念物に指定された。</p> <p>近代史の一面を飾る貴重な歴史資料である。</p>		

